ほりえと藤川の突撃レポート

土壌勉強会に突撃！

藤川

ほりえ

今回は、ピカイチ野菜くん本社で行われている
土壌医の米倉さんによる土壌勉強会に突撃！
後日、緑肥栽培で有機野菜を育てている
圃場にもお伺いしお話を聞いてきました。

勉強会の様子

Q. 初めに土壌診断について教えてください。

米倉さん

土壌診断とは、人間で例えると年1回受ける健康診断と同じようなものです。
健康な土を作ってそこで健康な作物を育てて、消費者の方々にお届けするのが、農業者の使命なので、その源になるのが土なんです。その土の現在の健康状態をしっかり調べてみようということです。土壌診断は土の生産性を上げるための指標になる診断項目が20個くらいあるんですけど、分析結果で出てきた数値に対して、大きい小さいなどの評価をしないといけない、その項目の意味合いや数値が正常なのかどうかを勉強会でやっています。

Q. 土壌診断に資格などはあるのでしょうか

一般財団法人日本土壌協会が行っている試験に、土壌医検定というのがあります。この検定は、1級～3級までありまして、3級に合格すると土づくりアドバイザー、2級だと土づくりマスター、1級だと土壌医の資格が与えられます。2級以上の資格だと、土壌診断書の処方箋が書けるレベルになります。勉強会では、それを目指す2級の内容を行っています。

Q. 勉強会が始まったきっかけはなんですか？

この周辺で新規に有機農業を目指す若い人たちが、私が緑肥を使った有機栽培をやっていることを知って見に来てたんです。そこで土の勉強をしっかりしないと、作物を育てるうえでの正しい土づくりの判断ができないというお話をしたら、土の勉強会をしたいと言われて2年前に3級の勉強会を始めました。

Q. 日本の生産者さんの中で土壌の知識を持っていたり
実際に土壌診断を行っているような方は
どのぐらいいらっしゃるのでしょうか。

多分、すごく少ないと思います。
土壌学というのがあるのですがそれを勉強する機会があまりないんですよ。農業高校でも、農学系大学でもあまり土壌学の勉強をすることがないんですよ。なので、普通の農業者も同じように土壌の勉強をするチャンスがあまりなくって。親などの時代がこういう風にやってきたからと伝承的に伝わってきて、こうだったからとやっていることが多いので、勉強する機会は少ないのではと思います。

・なかなか勉強する機会がないことを、こうして地域の若い方に教えてくださっているのは、我々を含め本当にありがたいです。

私も歳なんで（笑）これから
未来のある若い農業者さんに
土壌のことを伝えていって
それを農業生産で役に立てて
くれればいいなと思っています。

Q. 土壌の勉強をしていて感じたのですが、
無化学肥料が土にとっていい。というわけではないんですよね？

そうですね。土壌の基本というのは、緑肥を使う場合でも堆肥・肥料を使う場合でもベースは変わらないんです。農法によって無肥料栽培とかあるのですが、それは農業の仕方の話であってそこの土を調べてみたら、栄養失調で何もいれないから元気のない土で作っている場合もあるんです。だから農法だけに陥ってしまうと、成功する場合もあればその農法をやればやるほど失敗してしまうこともあるんです。例えば肥満の人で食事制限をする人は食事を減らす。農業でいえば無肥料栽培をする。それはその人がそういう状態だから食事制限をしているわけで、それを飢餓状態の人に食事制限をしてはいけませんよね？
それが農業の場合でも同じで、土が栄養不足なら積極的に有機肥料を入れるとか、慣行栽培なら化学肥料をいれなければいけない。
あくまでも農法ありきではなく、土の現状をみて、それに合った作物が喜ぶような、土になるように管理していかなければならない。
そのためには緑肥や有機肥料を使うとかしなければいけませんね。

Q. 農家ではない人でも土壌診断をしてもらうことはできるのですか？

基本的に土壌診断というのは、農協や肥料屋さんなどが行っています。なので家庭菜園の畑などで土壌診断はなかなか受ける機会がないと思います。各都道府県に分析センターというのがあるのですが、こちらは依頼すれば受けてはくれると思いますが、なかなかお値段かかっちゃいますね。

Q. 家庭菜園などの際に土について
気を付けるべきポイントはありますか？

肥料の使い方は気を付けてほしいですね。
農家の人も肥料を使わないと作物を育てられないと思っている気がします。いい肥料をつかわないといい作物が育たないみたいな。土そのものが作物を育てているのではなくて、土は肥料の受け皿で、ただ作物が倒れないように支えるために根が刺さっているイメージで、そこに肥料をまけば作物は肥料を吸って収穫にこぎつけると思ってる方がいるのではと思います。実は、肥料が作物を育てるんじゃなくて、土そのものが作物を育ててるんですよね。だからその土の本質を理解すれば、本来作物に必要のない無駄な肥料を使うことはないし、使っても必要な量がわかる。農家なら経営的にも肥料代が無駄にならないし、健康な作物も育つんです。

Q. 粒だよりを読んでいるお客様にメッセージをお願いします。

自分の健康を維持するためには、食生活に注意しないといけないと思います。自分の身体を支えているのは食べ物です。食べ物の良し悪しが自分の健康に返ってくるので、野菜やジュースなどがどういうプロセスで、どのように栽培されているかを正しく理解していただくことが大切かと思います。SDGs(エスディージーズ)の目標の一つに「つくる責任・つかう責任」が掲げられています。健康な土と食べ物をつくり、それを理解していただける消費者が増えるといいですね。

▼ほりえ感想▼

土壌のお話ということで、最初難しい話だと思っていたのですが
（実際、勉強会の内容は専門用語が多く難しかったです…）
人間の身体に例えて頂いたりして、なるほどと思いました。
土に栄養があった方が、作物もよく育つと思っていましたが、
栄養が多すぎても害が出てしまうということで、驚きました。
何事も適量が大事なんだと思いました。
土壌の状態を知ることの大切さを知ることが出来て良かったと思います。

▼藤川感想▼

お話の中で、あくまでも
土が作物を育てる
とのことで、家庭菜園でも
気を付けるべきポイントなど
生活に役立つ内容も
教えていただき、
とても為になるお話を
聞かせていただき
ありがとうございました。

楽しく解こう！

ほりえのがっこう

キーンコーン

今回は地理の問題！
イラストから連想される
県名を答えてください。

1問

2問

3問

畑だより

コータロー

本社の花壇に蒔いた
ヘアリーベッチは
畑よりひとあし先に
ぐんぐん成長中です！

農産部担当のコータローです。2021年も人参の畑作りが始まりました。
去年の反省を踏まえて今年も美味しいにんじんを育てます。
栽培方法は、農薬・化学肥料を一切使用せず、緑肥を育て動物性の肥料を使わない100%植物での栽培です。ちなみに「動物性肥料」を入れないのは有機農法でもまだまだ珍しいです。
今年も第1弾はヘアリーベッチ（寒太郎）という種類の緑肥を蒔きました。にんじんの場合、12月に収穫するので大体8月ごろから人参の種を蒔きます。なので、8月までの畑は緑肥を育てて地力を回復させる時期になります。慣行農法（農薬化学肥料を使用する）場合、地力回復にこんなに時間をかけません。1年間で3回収穫する畑もあるぐらいです。なので、大地はクタクタになってしまいます。ピカイチ野菜くんの農場は、1年間でにんじんを1回のみ収穫です。半年以上は緑肥を使用して地力回復の時間です。贅沢な農法だとも言えますし、お金を稼ぐという面では生産性が低い畑かもしれませんね。ただ、出来上がるにんじんの味も抜群ですし、何より緑肥を育てると緑肥自体が植物なのでCO_2を削減することができます。緑肥の中には、沢山の虫やミミズなど本当に多種多様の生き物が集まってくる循環型農業です。私達はそんな農業を目指しています。北海道や九州など、一部緑肥を使用する畑も増えてきました。100%緑肥栽培はまだまだ少ないですが、日本の農家さんが緑肥を使用することで緑が増え、地球の環境も良くなる。
色々書きましたが、まずは美味しいにんじんをしっかり育てていきます。
今年もピカイチ野菜くんの畑情報を定期的に更新していきますのでよろしくお願いいたします。

かなこさんのかんたんレシピ

■ 干したけのこの梅昆布茶付け ■

材料（1人前）

ごはん	…150g
昆布出汁	…200ml
干したけのこ・梅干し	
細切り塩昆布・ねぎ	…お好み適量

<つくりかた>
炊いたごはん150gに
水で戻した干したけのこ
細切り塩昆布・梅干しを
のせ昆布出汁をかけて
ねぎを飾って完成♪

<下準備>

干したけのこ	→	たけのこの水煮を細切りにして2～3日天日干しする。使うときは水で戻す
梅干し	→	包丁で細かくたたく
ねぎ	→	小口切りにする
昆布出汁	→	昆布10g～20gの表面を固くしぼった布巾でさっと拭く。水1リットルに30分漬ける。中火にかけ沸騰寸前で昆布を取り出す。

編集後記

4月となりました。気温の変動など色々ありましたがぽかぽか暖かい陽気となり春らしい季節感があふれておりますね！粒だよりも始めてから一度も欠かさず出来たのも、ひとえにお客様からのうれしいお声で御座います。今回は広島県のO様の取材heart to heart。貴重な情報です。突撃レポートは、弊社で月2回行っている土壌勉強会です。土づくりがいかに大事か真剣に勉強しているところを取材しました。健康をしっかりサポートできるよう内容を作っております。

國末健太

ピカイチ野菜くん®
株式会社一粒万倍
〒419-0123 静岡県田方郡函南町間宮897-1
TEL:0120-09-1831 FAX:055-977-7833
mail：info@pika831.com
営業時間 平日 9:30-18:00（土日祝日は休業です）
営ょ：①栃木県②広島県③福井県